

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

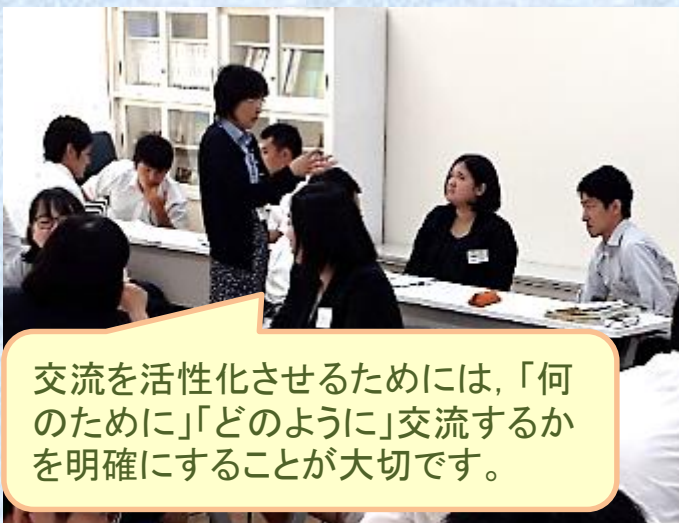
第18号 H30. 8. 17

茨城県教育研修センター
教科教育課
☎0296-78-3213 (直通)



若手教員〔初任者〕研修講座（中学校，教科）の授業参観の様子を紹介します その3

国語 常陸太田市立金砂郷中学校



交流を活性化させるためには、「何のために」「どのように」交流するかを明確にすることが大切です。

▲授業者を交えた研究協議の様子

酒井淳子先生による「文学作品の批評をしよう！」の授業を参観しました。授業後の研究協議では、「発問」、「交流」、「振り返り」等について、受講者からたくさんの質問がありました。授業者は、一つ一つの質問に対して、これまでの経験を基にして、親身になって答えてくださいました。受講者の感想からは、「日頃の授業の悩みに答えていただきありがたかったです。」「本時だけでなく、他の授業もぜひ参観したいです。」等の声が多く寄せられました。

技術・家庭〔技術〕
桜川市立桃山学園



桃山学園では、「思考、疑問が共有できるグループ活動の工夫」を行っています。

▲授業参観の様子

渡邊正明先生による、材料と加工の技術「材料に適した加工法・材料の切断」の授業を参観しました。授業の参観，研究協議を通して基本的な授業づくりを学びました。授業では、「課題」を生徒と指導者が共有し、生徒が自ら考え、意見を交流する場が設定されており、生徒が生き生きと学び合う様子を見ることができました。受講者にとっては、日頃の自分自身の指導を振り返り、改善を図るためのよい機会となりました。

数学 高萩市立高萩中学校



全ての生徒を見放すことなく、3年間を見通して育てていくことが大切です

▲研究協議における質疑応答の様子

日野尊行先生による多項式「式の利用」の授業を参観しました。授業後の研究協議では、「つまずいている生徒への指導について心掛けていることは？」など、受講者が普段の授業で悩んでいることについて積極的に質問する姿が見られました。「生徒一人一人を大切に、目の前の生徒の実態に応じて授業をつくっていることが分かり、とても参考になりました。」等の感想がありました。授業者からは受講者に向けて「自ら学ぶ姿勢が大切」というメッセージをいただきました。